

安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) 削除・修正一覧

平成27年9月14日現在

削除(まち・ひと・しごと創生でなく通常の業務、行革的な項目は掲載しない)

ページ	最新版ページ	施策番号	施策名	理由	備考
21	21	1-1	計画的な土地利用の推進	通常の業務	
21	21	1-2	計画的な土地利用の推進	〃	
21	21	2	地籍調査の推進	〃	
25	25	16	セキュリティ対策の充実	〃 (内部管理)	
26	26	20	上下水道の経営健全化	行革での取り組み	
30	30	86	低所得者の自立支援	通常の業務	
30	31	89	国民年金制度の運用	制度的なもの(通常の業務)	
31	31	109	男女平等意識の確立	施策番号111へ統合	
31	31	110	あらゆる分野における男女共同参画の推進	〃	
32	32	133	健全な財政運営の推進	行革での取り組み	
32	33	134	財産の適正管理と有効活用の推進	〃	
32	33	135	市税等の賦課徴収の推進	〃	
33	33	136	適正な出納審査推進	通常の業務	
33	33	137-1	成果重視の行政経営の推進	〃	
33	34	137-2	成果重視の行政経営の推進	行革での取り組み	
33	34	138	総合計画の進行管理	通常の業務	
34	34	139	適正な人員管理と能力向上の推進	行革での取り組み	
34	34	140	窓口業務の利便性の向上	〃	
34	35	141	事務機器等の適正管理	〃	
34	35	142	公共事業の公正確保	通常の業務	
35	35	143-1	市議会事務及び選挙管理委員会の運営	〃	
35	35	143-2	市議会事務及び選挙管理委員会の運営	〃	
38	39	93	公害防止対策の推進	〃	
39	40	96	動物愛護の推進	〃	
39	40	97	葬斎場の管理運営	〃	
62	61	55	消防力の充実	〃	
63	62	58	消防水利の整備	〃	
64	63	61	防災基盤の整備	〃	
71	72	108-1	広報・広聴活動の充実	〃	
71	72	108-2	広報・広聴活動の充実	〃	

修正

ページ	最新版ページ	施策番号	施策名	修正箇所	内容	備考
5	5			社会減の要因	地方の人口減少の要因となる出産年齢人口に関連して、直近の2005年(H17)から2010年(H22)の間では、20歳代女性が転出超過に転じています。	追記
6	6			③若者の流出を抑える	また地方の人口減少の要因に関連する20歳代女性が転出超過の傾向にあり、この流出を抑える対策も喫緊の課題となっています。	追記
12~15	12~15	38	成人教育の推進	施策体系	施策体系変更Ⅲ-③→Ⅳ-④	
12~15	12~15	41	文化芸術活動の推進	施策体系	施策体系変更Ⅲ-③→Ⅳ-④	
12~15	12~15	42	優れた文化芸術の鑑賞機会の充実	施策体系	施策体系変更Ⅲ-③→Ⅳ-④	

12～15	12～15	101	トップスポーツの活用	施策体系	施策体系変更Ⅲ-②→Ⅳ-④	
12～15	12～15	102	トップアスリートの育成	施策体系	施策体系変更Ⅲ-②→Ⅲ-③	
12～15	12～15	44	生涯学習拠点施設の充実	施策体系	施策体系変更Ⅲ-③→Ⅳ-④	
12～15	12～15	46	スポーツ活動を支える環境づくり	施策体系	施策体系変更Ⅲ-③→Ⅳ-④	
12～15	12～15	45-2	図書館の充実	施策体系	施策体系変更Ⅲ-③→Ⅰ-③	
19	19	118	担い手確保と就農支援	主な取組	産直市等の活用により、女性や定年退職後の就農者を含む多様な担い手の生産意欲向上を図ります。	追加
22	22	4-3	美しい景観の形成	KPI	指標名 遊休農地の解消→遊休農地の割合	
27	27	48	幼児保育の充実	KPI	指標名 登録者数の充実 →登録者数	
27	28	49	学童保育の充実	KPI	指標名 放課後児童クラブの待機児童の解消 →放課後児童クラブの待機児童数	
28	29	53	多様な保護者ニーズへの対応	KPI	指標名 「認定子ども園」の新設並びに移行 →「認定子ども園」の新設並びに移行数	
31	31	90	国民健康保険制度の運用	KPI	ジェネリック医薬品差額通知による医療費削減効果額 29,641千円 40,000千円	修正
32	32	112	女性に対する暴力の根絶と相談体制の充実	KPI	終結率(終結件数/把握件数) 30% 50%	
38	39	91	環境保全活動の推進	方針	環境基本計画に基づき、環境保全を積極的に取り組みます。	修正
39	40	116-1	農地の効率的利用と生産基盤の整備	主な取組	ほ場整備の計画的な推進、かんがい排水、農道、ため池等、生産基盤の整備を進め、優良農地の拡大を図ります。→削除	
39	40	116-1	農地の効率的利用と生産基盤の整備	KPI	現状値及び目標値の単位 千円→万円	
40	41	119	農業生産の振興	主な取組	産直市の施設整備と機能の充実を図り農家所得の向上を目指します	追加
41	42	123	林業振興の多面的展開の推進	KPI	現状値 673百万円→629百万円 目標値 増加を目指す→629百万円	
42	43	125	水産資源の維持・増大	KPI	目標値 維持を目指す→2百万円	
44	45	126	多面的な漁業の推進	KPI	目標値 維持を目指す→2百万円	
44	45	127	商店・企業の活性化支援	KPI	目標値 増加を目指す→1,021億円/年	
44	45	128	地域産業の育成	KPI	目標値 増加を目指す→1,021億円/年	
49	50	26	豊かな心の育成	KPI	将来に夢や目標を持っている小中学生の割合	削除
50	51	39	青少年教育の推進	KPI	舞台芸能・展示芸術活動の発表機会の提供 4回/年 5回/年	削除
57	57	33	学校施設・設備の整備	KPI	学校施設・設備の整備 → 理科教育設備 整備率	
57	57	36	給食センターの円滑な運用	方針	安全・安心でおいしい給食の提供を行います。	修正
57	57	36	給食センターの円滑な運用	主な取組	安全・安心でおいしい給食の提供を基本として、特色ある伝統食や健康に配慮した献立の導入等、地場産物を活用しながら魅力ある給食づくりに努めます。	修正

57	57	36	給食センターの円滑な運用	KPI	地場産物活用の推進 →地場産物活用率	
62	61	55	消防力の充実	方針	消防施設や地域消防力の維持・向上を図ります。 ↓ 消防施設の維持・向上を図ります。	
63	61	56	予防体制の充実	主な取組	○学校や地域等において、防火に関する正しい知識の普及に努めます。 ↓ ○保育所・幼稚園・学校や地域等において防火に関する正しい知識の普及に努め、自分の家や地域から火災を発生させないという火災予防意識の醸成により、火災発生件数の減少を目指します。	
63	63	60	防災体制の充実	主な取組	○自主防災組織の拡充に力を注ぐと同時に、「自主避難」を促す啓発と対応体制の確立に努めます。	追加
69	70	128	地域産業の育成 [※43頁前掲]	KPI	目標値 増加を目指す→1,021億円/年	

人口ビジョン修正

ページ	最新版ページ	修正箇所	内容	備考
5	5	自然動態(出生・死亡)の推移	出生数は、出産年齢人口(15～49歳)の減少により1980年(S55)以降減少傾向にありましたが、2010年(H22)には減少が止まり、2012年(H24)からは横ばいの状態となっています。しかし1980年(HS55)と比べると半数以下にまで減少しています。	修正
	18～19	従業・通学の状況	安芸高田市に常住する就業者・通学者の従業・通学先 安芸高田市に従業・通学する常住地の内訳	追加
	26	小売事業所数への影響	小売事業所数への影響	追加
35	38	自然増減	近年、出生数が200人弱で推移しているのに対し、出生率は2003年(H15)以降増加傾向にあります。これは出生率算定のベースとなる、出産年齢女性の減少が原因となっています。	修正
37	40	① 移動率を改善する	○しかし地方の人口減少の要因となっている出産年齢人口の減少に関連して、20歳～29歳の女性人口が直近の2005年(H17)から2010年(H22)の間では転出超過に転じています。 ○こうした状況に着目し、社会減対策として、転出を抑え、転入の促進を図るため、年代に応じた移動率改善に必要な対策を進めていきます。ここでは20歳代女性の転出超過を抑えることも、喫緊の課題となっています。	追加修正
37	40	⑤ 高齢者や女性が活躍できる社会づくりに強力に取り組む	○少なくともここ数十年は生産年齢人口の減少は避けられないことから、地域活力を維持していくためには、高齢者や女性がより一層活躍できる社会づくりに強力に取り組む必要があります。そのことが「支えられる側」から「支える側」への意識変換につながり、「若者が魅力を感じる住環境づくり」の大きな力となります。 ○安芸高田市に常住する女性就業者の市内への従業依存率は、男性より10%以上多い約84%と高く、女性が活躍できる場を整備することで依存率が拡大し、さらには常住就業数の増加にもつながっていくことが期待できます。	追加修正